



幸せ(健康)を運ぶ青い鳥  
“春(ハル)ちゃん”

# 第42号 2011.4 春ちゃん通信

## “春ちゃんのひとりごと”VOL.32「義援金街頭募金活動の巻」



こんにちは、春日健二です。いつもありがとうございます。  
3月11日東北地方太平洋沖地震後、新潟薬科大学学友会、新津JC、新津商工会議所青年部、にいつハロウィン仮装まつり実行委員会という各種諸団体の枠を超え、協力し、3月18日(金)～31日(火)に、秋葉区内各所にて義援金街頭募金活動を行わせていただきました。約2週間の募金期間でしたが、皆様の温かいお気持ちが集まり、2,073,858円の金額となりました。当店のお客様も何人もご協力いただきました。ご協力、本当にありがとうございます。今回の活動を通じ、「ひとりの力は無力かもしれないけど、決して無力ではない」そんなことを切に感じております。まだまだ、復興には時間が掛かりますね。今、出来る活動を一つ一つ行っていきたいと思っています。

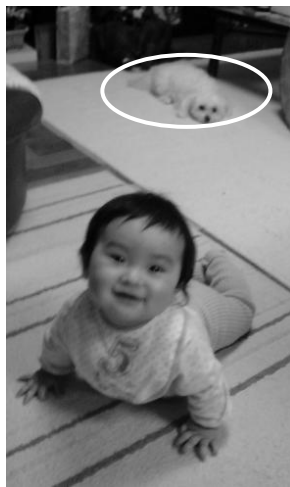
## 春ベビ通信 Vol.6 「愛娘と愛犬♪」

春日家の春ベビ(桃羽)も早いもので8ヶ月。皆様に温かく見守られ、おかげさまで、すくすく成長しております。うちの愛犬(マルチーズ)も、いつも微妙な距離感で愛娘を見守ってくれています(笑)

そんな愛娘はこの4月から4ヶ月通った金津保育園から愛慈保育園へと移りました。皆様のお子様、お孫様等々、愛慈保育園へ通っている方が居りましたら、今後とも、どうぞよろしくお願ひします m(\_ \_)m



いつも微妙な距離感の愛娘と愛犬♪



この度の東日本大震災・・・ある雑誌の編集後記に目が留まりましたのでここに紹介させていただきます。(月刊『致知』(5月号)の「編集後記」) ※字が小さくて申し訳ありません。(春日健二)

編集後記——東日本大震災に思う  
今も連日、悲報、訃報が続いている。

東日本大震災。マグニチュード9.0。その破壊力は人間の想像を遙(はる)かに超えるものだった。被災された方々に心からお見舞いを申し上げたい。今回の大地震でほとんどの人が予期し得なかったのが、大津波の恐ろしさだった。まるごと波にさらわれた町も1つや2つではない。3月23日現在、死亡・行方不明者は2万5000人を超える。そこに追いつ打ちをかける福島第一原発事故も不安をかき立てる。日本列島全体を精神的にも激震が襲っている。

しかし、この状況の中で我われの心を照らす希望の光がある。地震発当日、弊社社員の何人かは数時間歩いて帰宅した。翌朝出社した彼らが一様に言ったのは、「地震に際し、日本人が各所で垣間見せた美德」についてである。

ある社員は、「自宅までの帰路、見知らぬ人にも“大丈夫ですか”と声をかけ、何か困っていれば助け合う姿を何度も見た」と語った。逼迫(ひっばく)した状態にもかかわらず、コンビニヤスーパーなどの施設は通常通り営業した。そこにできた長蛇の列に住民は整然と並び、きちんとお金を支払って買い物をした。鉄道各社などの交通機関は夜通し運行した。

大混雑の中で乗客はお年寄りや妊婦に席を譲った——世界に目を向ければ、このような光景は当然のことではない。暴動、略奪といった無法状態が、災害時にはつきものなのだ。我われ日本人が当たり前にとっている行動は、実は世界に誇るべきことなのである。このことを我われはもっと自覚すべきだろう。

事実、今回の地震をCNNやBBCといった世界の主要メディアはこう報じている。

「有史以来最悪の地震が、世界で一番準備され訓練された国を襲った。犠牲は出たが、他の国ではこんな正しい行動はとれないだろう。日本人は文化的に感情を抑制するかに優れている」

震災はまだまだ予断を許さない。先行きは不透明で不安は消せない。しかし、決して下を向いてはいけない。世界の100を超す国と地域が支援を表明している。潘(はん)国連事務総長は、日本は世界で助けを必要としている人たちに対する最大の支援国であると述べた上で、「この極めて困難な時に国連は日本国民と共にある。我われは日本のために全力を尽くすだろう」とのコメントを発表した。

さらに、「日本人のマナーは世界一」人類で最高の先進性が日本にある」「日本人に学ぶべきだ」など、日本人の美德、震災後の姿勢や対応に、世界の讃辞(さんじ)が集まっている。

～以下、省略～

↑これを読んで改めて日本人であることを誇らしく思ったのは私だけではないでしょう。